

Creationary



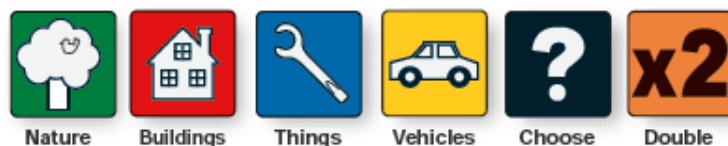
<ゲームの目的>

組み立てと予想で、最初に5点を獲得することを目指します。

<ゲームの準備>

以下のタイルを使用してダイスを組み立てます。

パーツを色ごとにわけ、箱に収納します。カードを初級／中級／上級の山にわけ、よくきってからそれぞれを裏向きの山札とします。プレイエリアの中央に、ダイス／カード／パーツを置きます。



注：スパナ型のパーツを用いて、ダイスのタイルを外すことができます。

<ゲームの遊び方>

最も若いプレイヤーから始め、以後は時計回りにプレイします。

手番では、ダイスを振り、出目に対応したアクションを行います。

(パーツの組み立て)

他のプレイヤーに見られないように、山札の1番上のカードを1枚とります。初級／中級／上級のどの山札を選択してもかまいません。

自分が振ったダイスの目に対応する絵をカードから探し、好きなパーツを使用して組み立てます。

他のプレイヤーは、何を作っているのかを推測します。

- 何を作っているのかを正しく推測し、当てたプレイヤーが現れたら、組み立てを止め、カードを公開します。その後で、カードを裏向きにして自分の前に置き、得点とします。当てたプレイヤーも同様に、同じレベルのカードを1枚山札からとり、自分の前に裏向きに置いて得点とします。カード1枚につき、1点となります。
- 誰も正解を答えられない場合、誰も得点することはありません。カードの内容を公開し、何を作っていたのか他のプレイヤーに明らかにした後、山札の隣に戻して捨て札とします。

(種類の選択)

カードを引く前に、4つの種類の中から今回作る種類を選択します。選択した種類を宣言した後で、カードを引いて通常通りパーツを組み立て、ゲームを進行します。

(ダブル得点)

カードを引く前に、左隣のプレイヤーが今回作る種類を選択します。選択した種類を全員に宣言した後で、カードを引いて通常通りパーツを組み立て、ゲームを進行します。正しく正解を答えたプレイヤーが現れた場合、同じ山札からもう1枚をとり、合計2枚を自分の前に裏向けて置き、得点とします。当てたプレイヤーも同様に、同じレベルのカードを2枚山札だからとり、自分の前に裏向きに置いて得点とします。

<勝利条件>

最初に5点を獲得したプレイヤーが勝利します。

<好きなルールで遊んで下さい>

レゴのゲームは、色々な遊び方をするために作られています。ダイスやゲームのルールに至るまで、好きに変更して楽しむことができます。少しずつ変更する度に、どんどんあなた好みのゲームになることでしょう！

ルール変更のコツは、1つずつ変更していくことです。そのルールを気に入ったら、残し、そうでなければ次のルールにチャレンジしましょう。それらを導入してゲームを始めましょう。ただし、始める前に、全員がルールを把握することを忘れない様に。

(ヴァリエント：大量得点)

カード裏面のはてなマークの数を得点とします。初級は1点、中級は2点、上級は3点です。最初に10点を獲得したプレイヤーが勝利します。

(ヴァリエント：チーム戦 時間との戦い)

ゲーム開始時、制限時間を設定します(例えば15分)。全員が1つのチームとなり、制限時間内により沢山の推測を成功させようとしています。手番がきたら、通常通りダイスを振り、組み立てを行います。誰かが正しく答えを当てられたら、カードを裏向きにしてテーブル中央に置き、得点とします。そして次のプレイヤーにダイスを渡し、ゲームを続けます。誰も当てられない場合は、すぐにカードを公開し、捨て札としてから次のプレイヤーに手番を移動します。何点獲得できたかを記録し、最高記録を目指しましょう。

(ヴァリエント：好きな物を組み立てる)

ペンと紙を用意します。「？」マークのダイス目がでたら、通常通り種類を宣言します。カードは引かずに、その種類で連想する組み立てたい物を紙に書いておき、隠しておきます。全員に種類を宣言し、組み立てを始め、通常通りゲームを続けます。

おまけ

旧版のルール

<1人創作7人まで推測>

通常通りのルールでゲームを進行します。全員が一度ずつ作り終わった後、最も高得点を獲得したプレイヤーか、5点を獲得したプレイヤーが現れた時に勝敗が決します。

推測の選択ルール：

- ① 1人の推測者が答えを言えるのは1度ずつ。
- ② 推測者は何度でも答えを言える。

<1人推測4人まで創作>

推測者がダイスを振り、種類を決定します。創作を行うプレイヤーが秘密裏にカードを1枚ずつ好きな山からとり、指定されたものを造ります。適度な時間内で、推測者は創作者が何を造っているのか推測します。推測者が正しく答えを当てることが出来たら、推測者と創作者が1点ずつ得ます。推測者が全ての答えを当てることが出来たら、推測者を交代してゲームを続けます。全員が一度ずつ推測者となった後、最も高得点を獲得したプレイヤーか、5点を獲得したプレイヤーが現れた時に勝敗が決します。

推測の選択ルール：

- ① 推測者が1つの創作に対して答えを言えるのは1度ずつ。
- ② 推測者は2回もしくは何度でも答えを言える。

<チーム戦(2~4チーム)各チーム2人以上>

1人のプレイヤーが種類を決定するためにダイスを振ります。その後、各チームの1人が秘密裏にカードを1枚ずつ好きな山からとり、指定されたものを造ります。チームメンバーは、自分のチームの創作者が何を造っているのか推測します。最初に当てること成功したチームに1点が入ります。創作者は交代してゲームを進めます。5点を獲得したチームか、全員が一度ずつダイスを振った後、最も高得点を獲得したチームが勝利します。

<協力プレイ 時間との戦い>

新版のルールと一緒にです。